

平成26年度 子供の未来に夢を託す・夢一輪運動 活動報告

日 時：平成27年1月30日（日）～2月8日（日）

場 所：ホルトホール大分（事前準備：大分園芸花市場）

1. 会場装飾

※事前準備

会場装飾用の花の水あげを行いました。

【日 時】平成27年1月30日（金）15：00～18：00

【対 応】30名（夢一輪の会、市場、花商、県、大学生等）

●会場の設営、花の運搬と装飾を行いました。約200種類5,000本の花育会場を2会場作りしました。

【日 時】平成27年2月1日（日）8：30～15：00

【対 応】85名（夢一輪の会、市場、花商、県、市、高校生、一般ボランティア等）



2. 花育活動

【日 時】平成27年2月2日（月）～6日（金）

【活動対象】大分市25校、由布市2校、別府市3校 2,181名

※臼杵市1校はインフルエンザの流行により参加辞退

【対 応】105名（約21名/日）（夢一輪の会、市場、花商、県、市、一般ボランティア等）

①事前学習（約10分）

スライドを見ながら花が播種から店頭に並ぶまでの流れを勉強しました。説明後はスタッフが補足の説明や、子供達の質問に答えました。



②花育活動（約45分）

会場に入った子供達は10分～15分の間、会場の中を動き回り、約200種類、5,000本の花の中から自分の一番好きな花を見つけます。そしてその花について絵や作文を作成しました。



3. トークディスカッション「咲かそう未来の夢・フラワーディスカッション」

【日 時】平成27年2月4日(水) 13:30~15:30

【講 師】・林 浩昭(農業全般)：元東京大学農学部助教授、大分県教育委員、国東七島蘭振興会会長
・諏訪 義治(行政)：大分県中部振興局長
・椎原 扇秋(文化)：華道小原流家元教授
・戸川 ちとせ(販売)：花の店とがわ、社団法人日本フラワーデザイナー協会フラワー装飾一級技能士
・野上 健次(生産)：NPO法人 夢一輪の会 代表

【参加者】大分県立大分東高等学校 園芸デザイン科 2年生 35人

【司 会】安元 佳奈：OBSアナウンサー、安元佳奈のもっともっと教えて！農業 パーソナリティ

●講師がそれぞれの立場から農業や花に関する様々な話をし、参加した高校生からの「花屋さんになるには」、「花と関わるようになったきっかけ」などの質問に答えながらディスカッションを行いました。
※今回のトークディスカッションは収録の上、2月15日(日)8:00~8:30放送のOBSラジオ「安元佳奈のもっともっと教えて！農業」で特別企画として放送されました。

4. 花育総合イベント【～暮らしに花を・心に潤いを～】

【日 時】平成27年2月7日(土)~2月8日(日)

7日(土)9:30~16:00/8日(日)9:30~15:00

【対 応】スタッフ70名(夢一輪の会、県、市、花商、華道、大学生、高校生、一般ボランティア等)

【参加者】7日(土)472名、8日(日)約473名

●7日(土)と8日(日)は、多くの方に花の癒やしの効果を感じて頂くため、一般開放とし、暮らしに花を取り入れ、心に潤いを与える提案を行うイベントを開催しました。朝から親子連れを中心に2日間合計で945名の人々に来場頂きました。中には平日に花育活動を体験した子供が親御さんと共に再度訪れていました。

◆花育会場見学コーナー

平日に行われた200種類5,000本の花育会場を見学ができるコーナー。



◆お花の種まき体験コーナー

鉢にお花の種をまく体験コーナー。スタッフによる花の育て方のアドバイスもあり、種をまいた鉢植えは持ち帰ってもらいました。

◆リサイクル花器作製コーナー

空き缶やペットボトル等のリサイクル品を使った「一輪挿し用花器」の作製体験。世界に一つだけのオリジナル一輪挿しを作り、作製した一輪挿しは持ち帰ってもらいました。



◆記念撮影コーナー

イベント会場内に記念撮影を行えるスペースを設置し、花をバックに写真撮影を行いました。

◆花文化の展示コーナー

伝統と流行の花文化として、生け花やフラワーアレンジ等の作品を展示しました。

※期間中(1/30~2/8)の参加スタッフ総人数

290名(夢一輪の会、県、市、市場、花商、華道、一般ボランティア、高校生、大学生)